

文芸部門

俳句

○山陽小野田市市長賞
石蔭咲くや羅漢に探す父の顔
白石 千代
○山陽小野田市議会議長賞
さんま焼くほどよく残る海の色
濱田サダコ
○山陽小野田市教育長賞
地芝居の子役なまるやちろ虫
山田東龍子
○山陽小野田市文化協会長賞
退院の夫の荷を解く良夜かな
益田満寿美
○山陽小野田観光協会長賞
東行の歌碑読返す紅葉晴
三浦 裕子
★小学生の部★
○山陽小野田市教育長賞
風鈴よ思い出運を音となる
厚狭小6年 増富綾美
○山陽小野田市文化協会長賞
赤トンボ夕日といっしょに家路
まで 本山小6年 西岡友也

短歌

○山陽小野田市市長賞
出来ぬこと日毎増しくる老いの
身の淋しき隠し秋の畑打つ
世良 弘美
○山陽小野田市議会議長賞
落ち実より育ちし梅の枝張りて
根方音むしわれは老いたり
林 歌子
○山陽小野田市教育長賞
波頭砕けて散れる回天の遺跡に
立ちて聴く波の音
中本亜矢子
○山陽小野田市文化協会長賞
さらさらとささやく葉音に誘わ
れて午後の散歩はさくさく歩く
望月 理子
★児童生徒の部 特選★
コロナ増えひまわりは枯れうつ
むくがぼくは負けず前だけを
向く
高千帆小6年 大野 友貴
授業中グリーンカーテンながめ
ると私の心いっしょにそまる
高千帆小6年 石川 紗夜
天気雨ソフトクリームと空の虹
かがやいてその中の秋
小野田小5年 沖野 翔
紅い空夏の終わりに吹く風は秋
のはじめのやさしい知らせ
小野田中2年 原田 歩佳
リモートで授業を受ける塾の時
画面の外にはお菓子がいっぱい
童王中3年 三好 陽菜

美術工芸部門

筆で書く
文龍会 谷岡 計甫
手紙がメールになり、文字が
ワープロになりました。手書き
の書簡は本当に少なくなりました。
でも心が温まるのはやはり
手書きですね。
私たちが所属する「文龍会」
は、故久富桂石師が創設された
書道会です。師の端正な筆文字
に魅せられ集まった仲間です。
師亡きあと、活動の場を江汐公
園に移し、四季折々自然のなか
けんさんを重ねています。
活動は月一回第二日曜日。江
汐公園に來られたら練習風景を
覗いてみて下さい。私たちの仲
間に入りませんか。



文龍会

琴の音に集いて
糸音会 藤永登志子
糸音会発足から六年、会員一
同琴の音色を楽しんでいます。
一昨年からコロナ禍により「老
人施設」「児童館」「敬老会」「ア
ートのたまてばこ」など、琴に
親しんでいた機会が全て中
止となりました。昨年の邦楽大
会は、出演団体が少ないながら
も開催され、私たちも舞台演奏
ができて嬉しく思いました。平
穏な日々の有難さをつくづく感
じた次第です。新年にはテレビ
から流れてくる箏曲「春の海」
この名曲のみならず親しみやす
い現代曲等も琴の音で楽しんで
いたきたいと思います。
邦楽の各部門では、会員の高



糸音会

邦楽部門

齢化や減少傾向が進んで、糸音
会も例外ではありません。
古典楽器「琴」の魅力を発信
し、少しでも琴人口が増えるこ
とを願いながらこれからも頑張
ります。

茶華道部門



華道家元池坊すみれ会

花とのふれあい
華道家元池坊すみれ会 有田光枝
池坊小野田支部の事業では学
校華道があり、市内の小中学校
で授業を行い、早や二十年にな
ります。「生活と花との関連性」
について学校華道の授業では、
児童・生徒に一年を通して五節
句について話しています。三月
の雛節句は桃、五月の端午の節
句は菖蒲、と説明し四季を実感
して活動してまいります。

としても活動しています。昭
和・平成、そして令和と続く伝
統文化をこれからも守りながら
そして龍王伝説を本物の伝説と
するため、市民の皆様のご協力
とご支援をいただき、一致団結
して活動してまいります。

龍王伝説



市民音楽祭

音楽部門

して生活にうるおいを感じさせ
ています。授業では体験を学ぶ
ことで「自信」となり、人生へ
のチャレンジができた喜んで
くれています。
ボランティアで市内各所に花
を飾り、花を通して、多くの人々
とのふれあいで、心が和みます。
花とのふれあいで豊かな日々を
持ちたいと思います。



山陽小野田市文化協会だより

山陽小野田市文化協会だより

コロナ禍の雲間

松富ピアノ教室 中学2年 山田 将輝
長い自粛生活によって、狭い
部屋の中に留まることにも慣れ
た僕と妹の音楽は、市民音楽祭
という機会を得て、再び広いホ
ールへ解放された。久しぶりの
人前で弾く感覚にアドレナリ
ンは大放出、とにかく楽しくて
夢中で音を刻んだ。アドリブ的
な箇所でシンクロした時には
「これが僕の妹か!」と内心驚
嘆しました。
音楽は、奏でる人、聞く人、
両者にとって快楽であり、一種
のコミュニケーションなのだ
僕は思っています。
また雲がかかってしまった現
在、僕たちは「今できること」
を頑張っています。晴天になる
ことを信じて。

歌謡の部

コロナ禍だからこそ喜び
たかひろし歌謡教室 たかひろし
第五回愛のチャリティ歌の祭
典は、二度の延期ながら昨年十
一月二十一日(日)の開催にこ
ぎつけることができ、会員一同
喜びと共に胸を撫でおろした次
第です。
コロナ禍の中で、各会主や会
長さん、スタッフ一同、まん延
防止に努め、予想以上のご来場
を賜り、本当にありがとうございました。



藤田流千代寿会

日舞部門



愛のチャリティ歌の祭典

いました。
今年度は、9月25日(日)山陽
小野田市民館・文化ホールで開
催予定です。ぜひ、多くのご来
場を賜りますよう、けんさんを
重ね、歌で元氣をお届けできれ
ばと願っています。

洋舞・その他部門

舞踊に想いをよせて
藤田流千代寿会 藤田 扇広
待ちわびた日本舞踊祭が、令
和三年十月に開催されたことは
本当に嬉しく、関係者に感謝し
ています。
出演された皆様には、新型コ
ロナウイルス感染症の中、稽古
もままならず大変だったと思
います。しかし、終演後観覧され
た人々が、踊りの素晴らしかつ
たことを高く評価していただき
感謝しています。
しかし、まだまだ魅力ある舞
踊を続けなければと思っていま
す。私たち舞踊界も高齢化して
います。若い人に関心を持って
いただけるよう、芸の継承に努
力しなければと思っています。

文化奨励賞によせて

竜王太鼓保存会

四十年以上和太鼓の音色で、
お祭りや、お祝いの場を盛り上
げてきました。遠くまで響く太
鼓の音は、笑顔を集める役割を
していたように思えます。耳で
聴く音楽であり、体で感じる太
鼓の響きは、これからもたくさ
んの市民の方に楽しんでいただ
きたいと願っています。
竜王太鼓保存会は、山口きら
ら博から続く龍王伝説の太鼓隊

